

令和7年度 栄区区民意識調査 結果概要

【調査概要】

- 調査対象：住民基本台帳から無作為抽出した栄区内に居住する18歳以上の市民6,000人
- 調査期間：令和7年11月1日～11月28日
- 調査手法：郵送配布、郵送回収・インターネットによる回答
- 設問数：26問
- 回収数：2,983票（回収率49.7%、有効回答票2,982票）

※図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。

※回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。

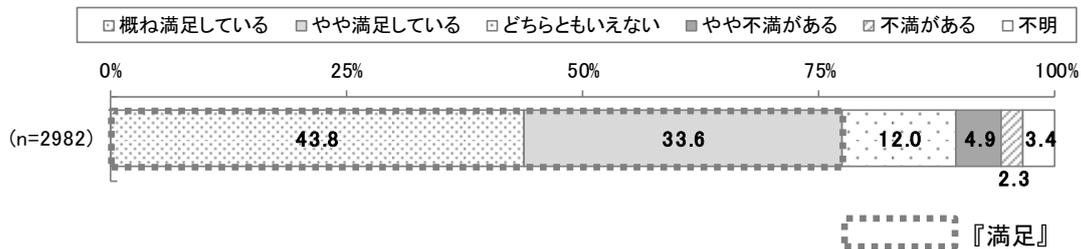
【調査結果】

1. 生活の満足度

(1) 栄区での満足度

- 「概ね満足している」（43.8%）が最も多く、続く「やや満足している」（33.6%）を合わせると8割弱が『満足』していると回答している。一方、「やや不満がある」、「不満がある」の合計の割合は7.2%である。

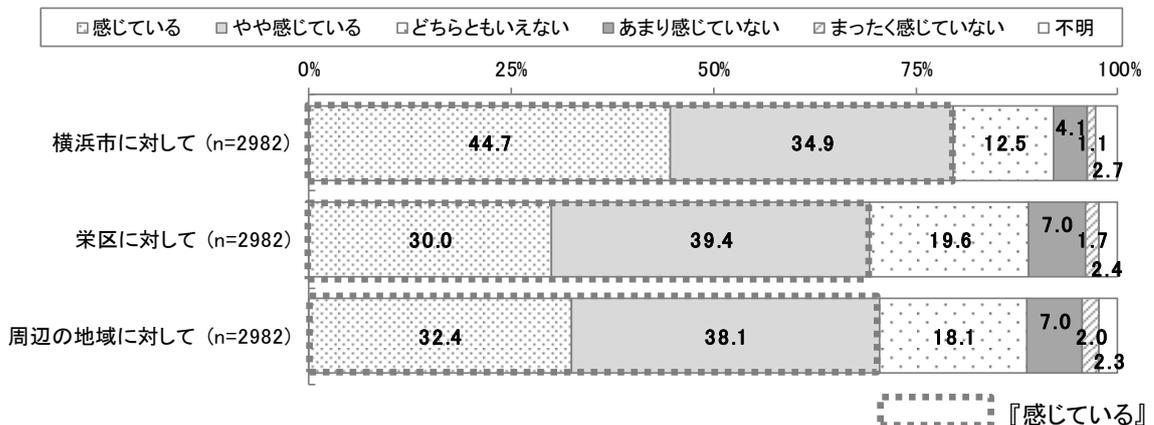
問1 栄区での生活に満足していますか。



(2) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

- 横浜市に対する愛着や誇りを『感じている』の割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて79.6%に達する。
- 栄区、周辺地域に対して愛着や誇りを『感じている』の割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて、それぞれ69.4%、70.5%である。

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

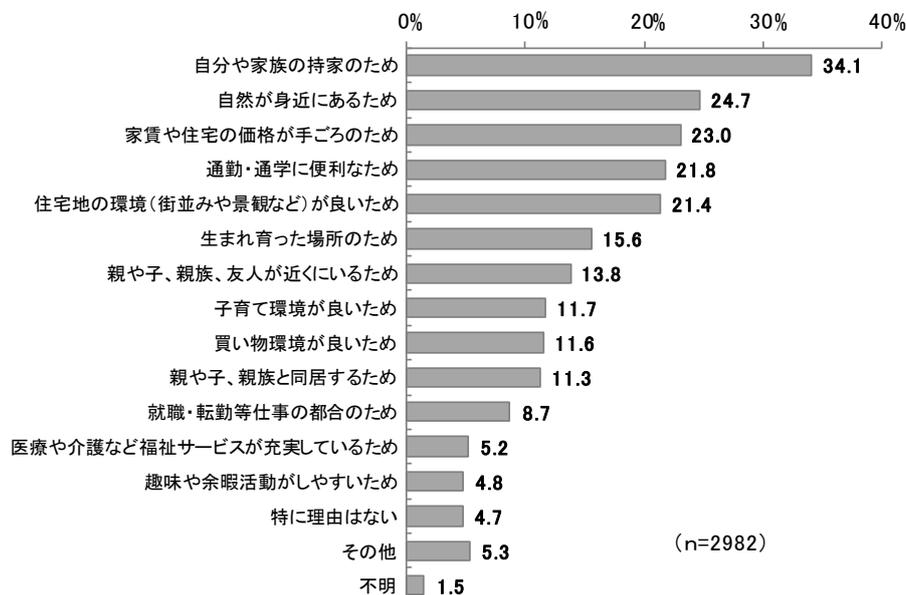


2. 定住意向

(1) 栄区に住んだきっかけや理由

- 「自分や家族の持家のため」(34.1%)が最も多く、「自然が身近にあるため」(24.7%)、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」(23.0%)が上位に挙げられている。

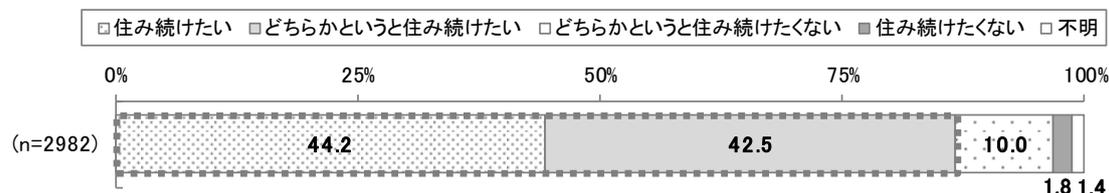
問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



(2) 定住意向

- 「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた現在の居住地に『住み続けたい』の割合は86.7%である。

問4 現在お住まいの地域に住み続けたいですか。

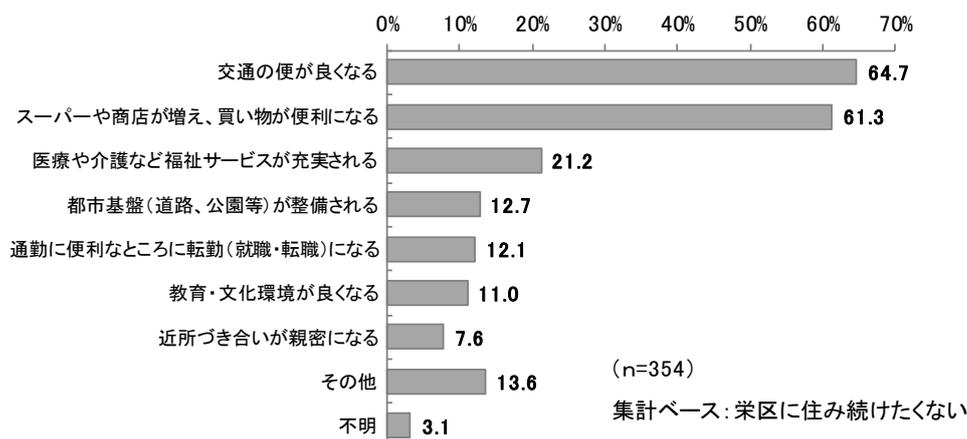


『住み続けたい』

(3) 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと

- 「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」の2項目が6割を超えて上位に挙げられ、他の項目を大きく上回る。

問4-1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(〇は3つまで)

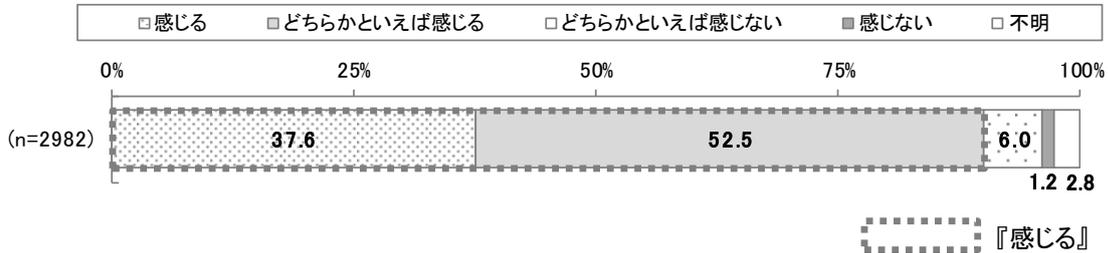


3. 生活意識

(1) 安全なまちだと感じるか

- 安全なまちだと「感じる」の割合は37.6%で、「どちらかといえば感じる」を合わせると約9割が安全だと感じている。

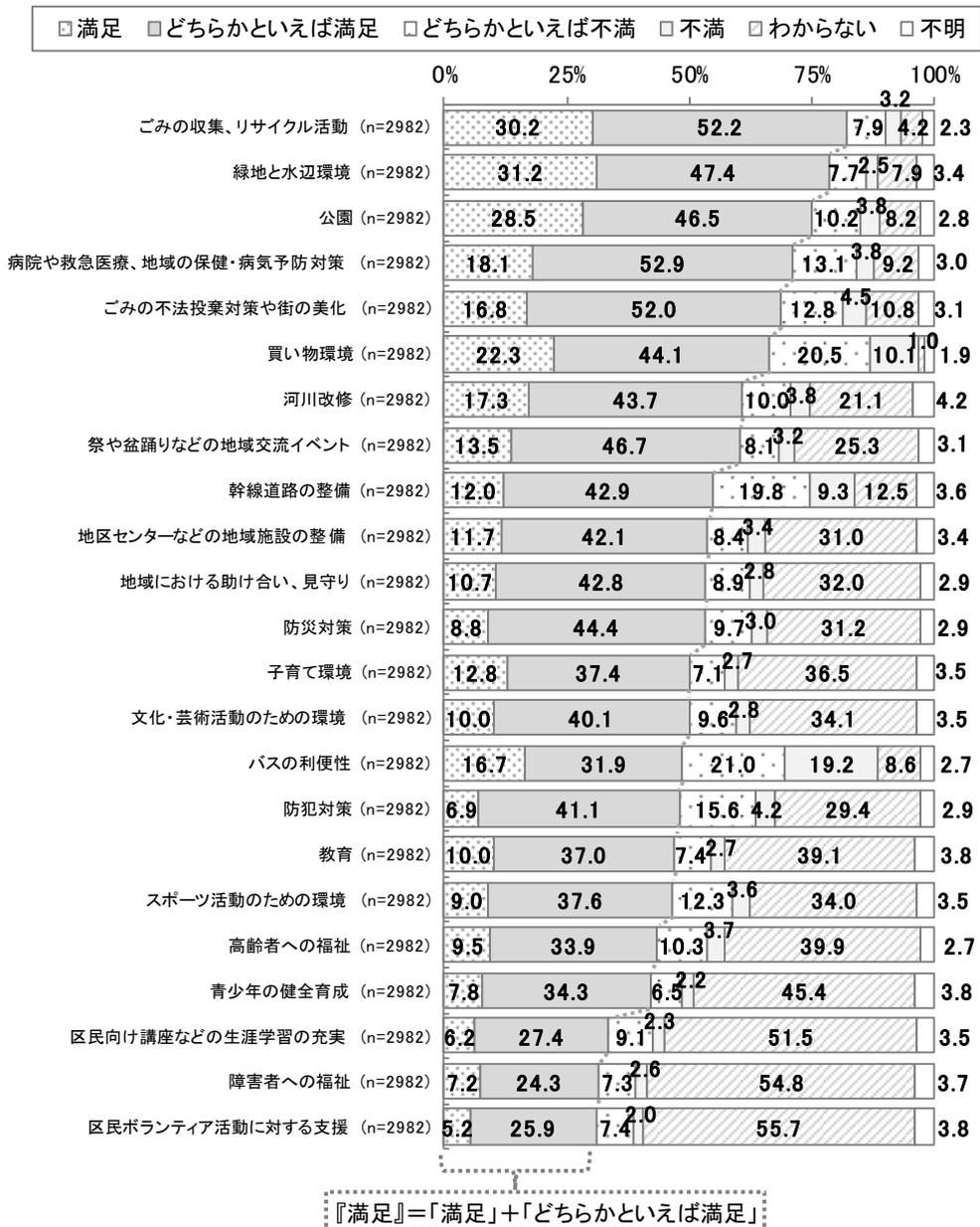
問5 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。



(2) 生活環境への満足度

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が最も高いのは「ごみの収集、リサイクル活動」で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「買い物環境」の順に続く。

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。

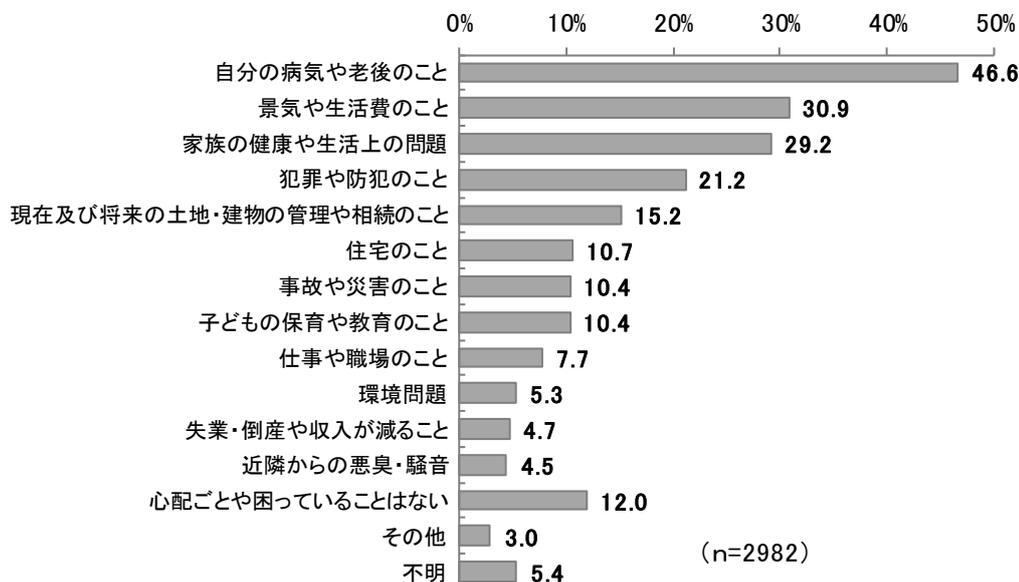


『満足』＝「満足」＋「どちらかといえば満足」

(3) 心配ごとや困っていること

- 「自分の病気や老後のこと」(46.6%)が最も多く、「景気や生活費のこと」(30.9%)、「家族の健康や生活上の問題」(29.2%)、が続く。

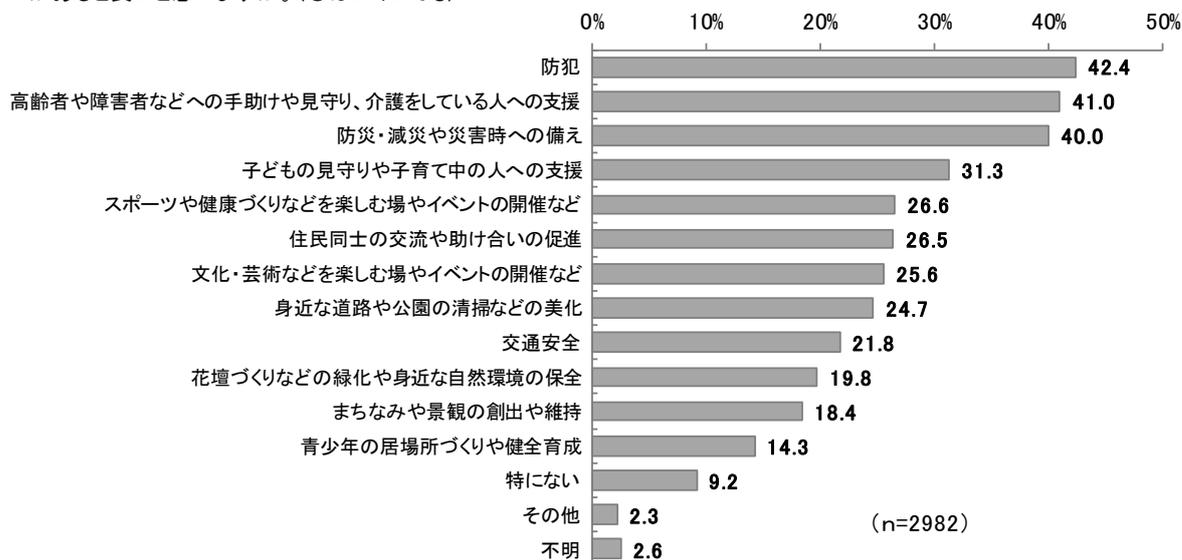
問7 ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)



(4) あると良い地域活動

- 「防犯」(42.4%)が最も多く、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」(41.0%)「防災・減災や災害時への備え」(40.0%)が続く。

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

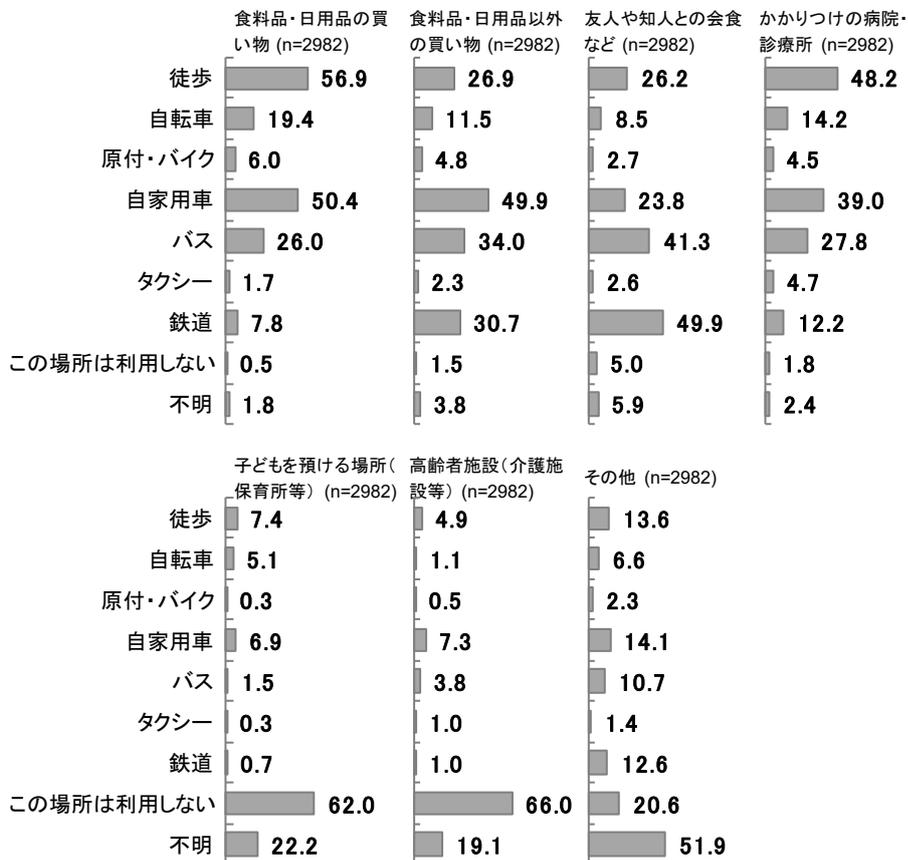


4. 道路・交通について

(1) よく利用するまでの主な交通手段

- 「食料品・日用品の買い物」「かかりつけの病院・診療所」までの交通手段としては徒歩が最も多く、「食料品・日用品以外の買い物」では自家用車、「友人や知人との会食など」では鉄道が最も多く使われている。

問9 よく利用する場所までの主な交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

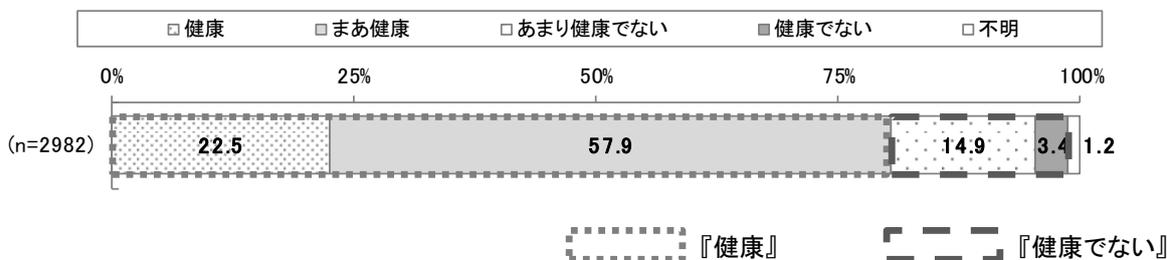


5. 健康福祉について

(1) 健康状態

- 「健康」、「まあ健康」の合計『健康』の割合は8割を超え、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計『健康でない』を大きく上回る。

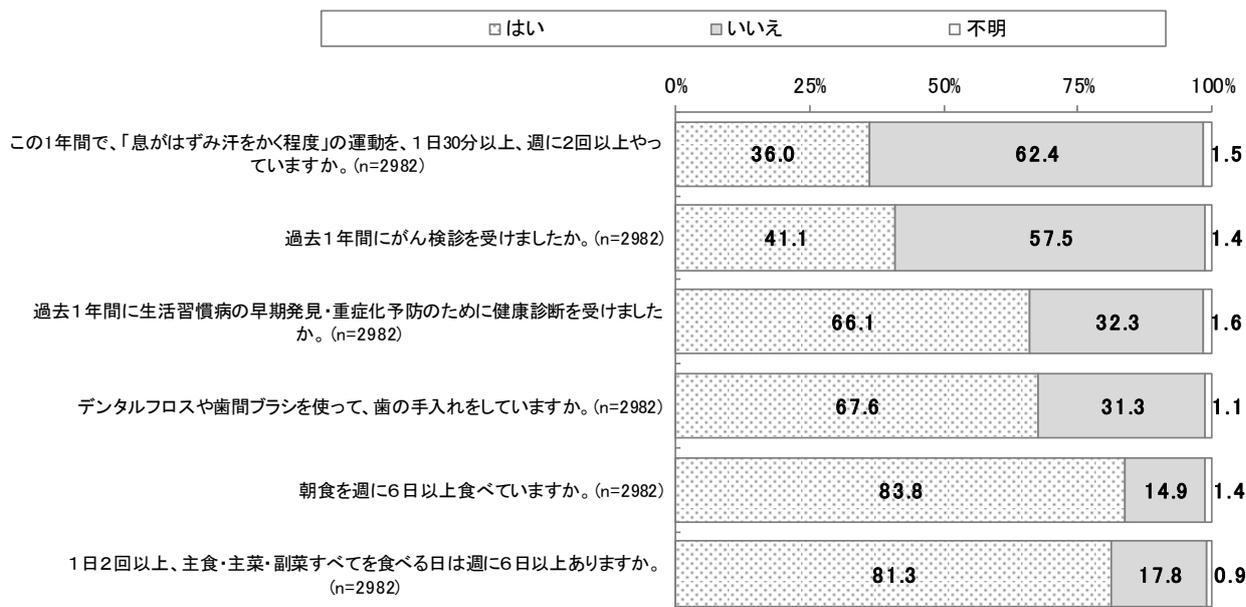
問10 現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。



(2) 健康に関する取り組み

- この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を、1日30分以上、週に2回以上の実施については「いいえ」が62.4%で、「はい」(36.0%)を大きく上回る。
- 過去1年間のがん検診の受診については「いいえ」が57.5%で、「はい」(41.1%)を上回る。
- 過去1年間の健康診断の受診については、「はい」(66.1%)が「いいえ」(32.3%)を大きく上回る。
- デンタルフロスや歯間ブラシを使った歯のお手入れについては、「はい」(67.6%)がおよそ3分の2となっている。
- 朝食を週に6日以上食べていること、1日2回以上主食・主菜・副菜を6日以上食べることにについては、「はい」が8割を超えている。

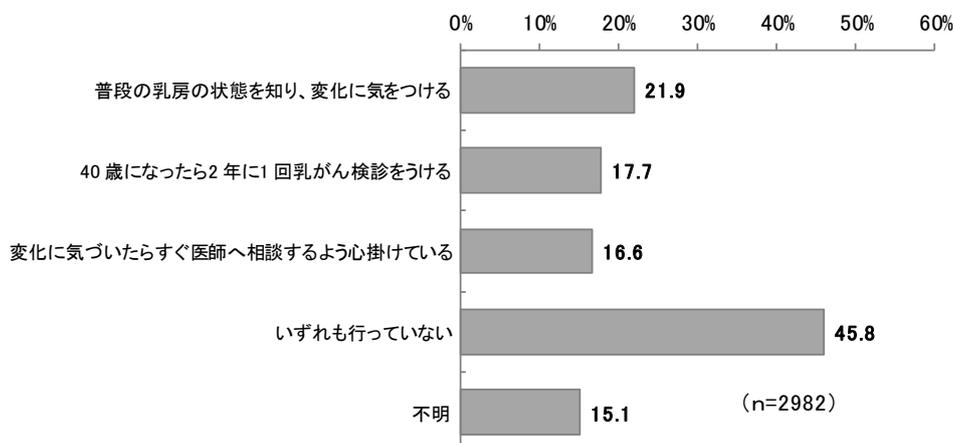
問11 健康に関する以下の項目について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。



(3) プレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）

- 「いずれも行っていない」(45.8%)を除くと、「普段の乳房の状態を知り、変化に気をつける」(21.9%)が最も多い回答となっている。

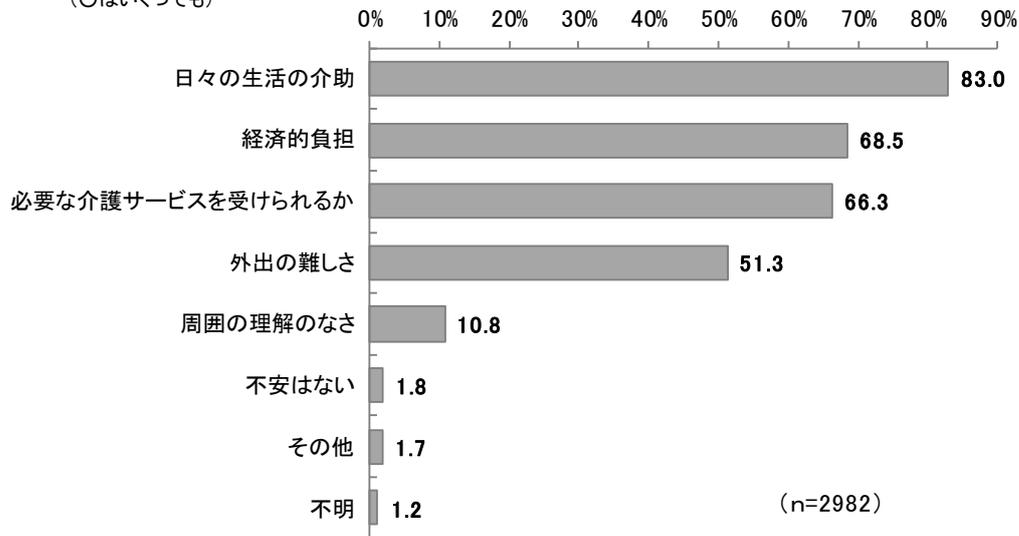
問12 乳がんの早期発見・治療にはプレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)が大切であると言われてます。プレスト・アウェアネスのポイントのうちあなたがやっているものはありますか。(○はい/いつでも)



(4) 介護に対する不安

- 「日々の生活の介助」(83.0%)が最も多く、「経済的負担」(68.5%)、「必要な介護サービスを受けられるか」(66.3%)が続く。

問13 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(〇はいくつでも)

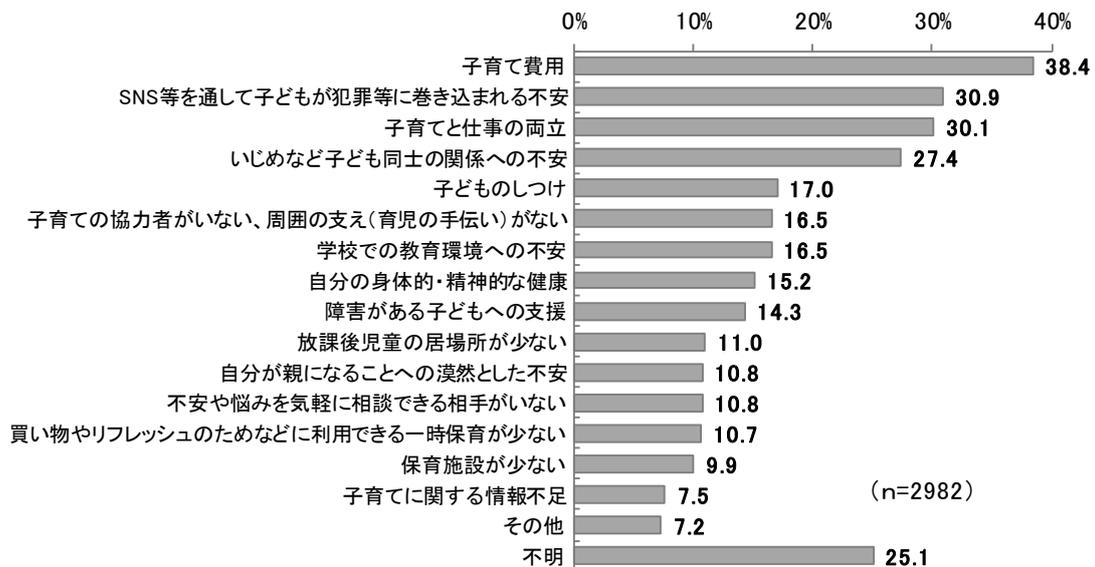


6. 子育てについて

(1) 子育てについての課題や不安

- 「子育て費用」(38.4%)が最も多く、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「子育てと仕事の両立」が3割を超え上位に挙げられている。

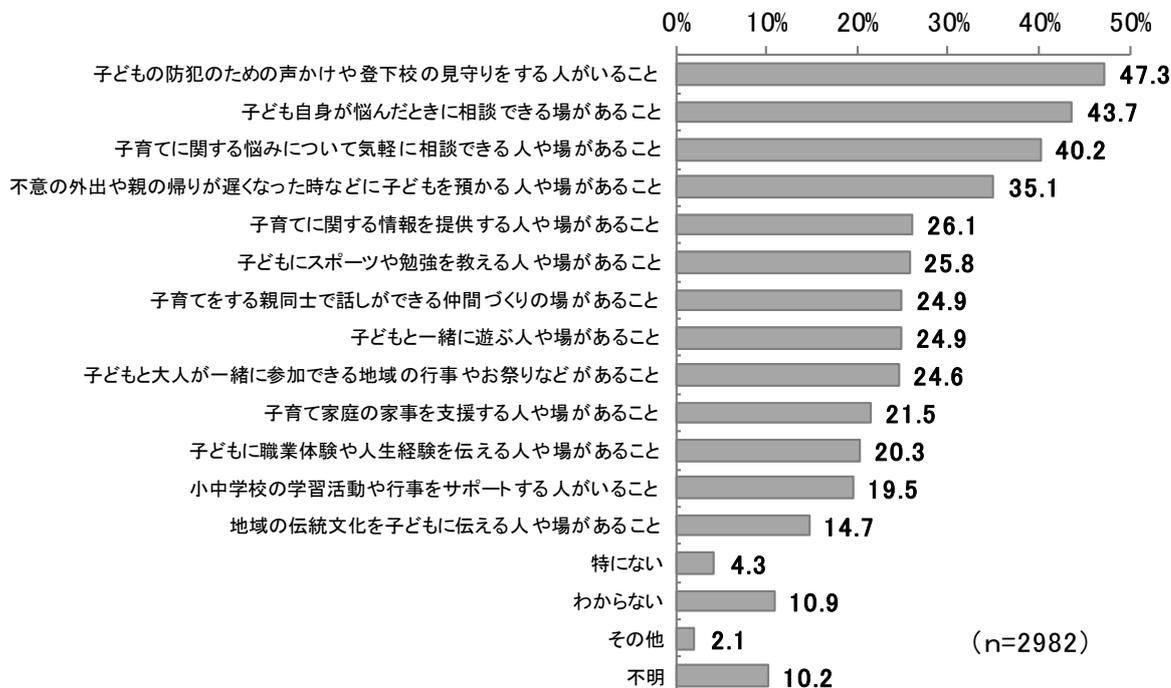
問14 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(〇はいくつでも)



(2) 地域で子育てを支えるために重要なこと

- 「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(47.3%) が最も多く、「子ども自身が悩んだときに相談できる場があること」(43.7%)、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」(40.2%) が4割を超え上位に挙げられている。

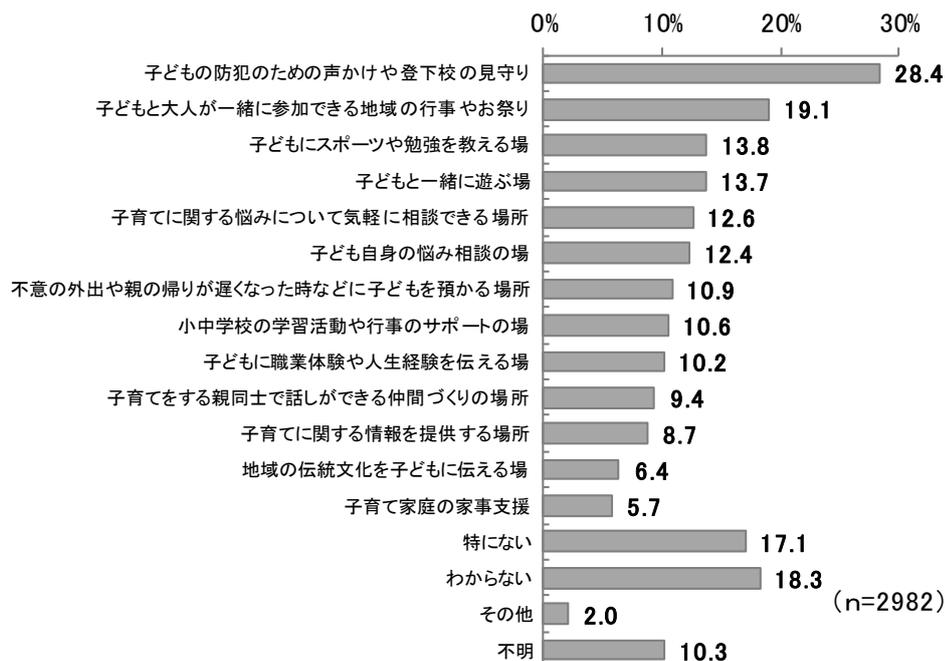
問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



(3) 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」

- 「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り」(28.4%) が最も多く、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭り」(19.1%) が続く。

問16 あなたが、参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。(〇はいくつでも)

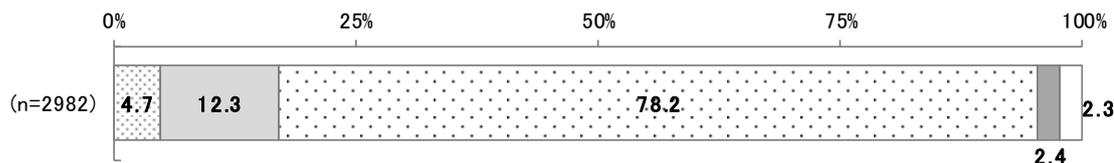
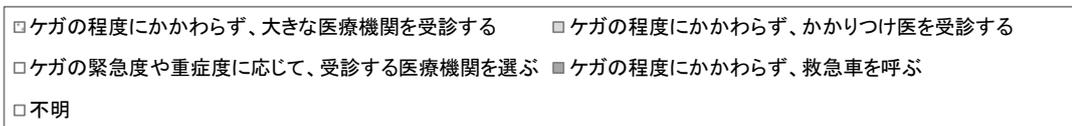


7. 防災について

(1) 災害時に緊急度・重症度に応じて医療機関を選択することについての認知度

- 「ケガの緊急度や重症度に応じて、受診する医療機関を選ぶ」(78.2%)が8割弱となっている。

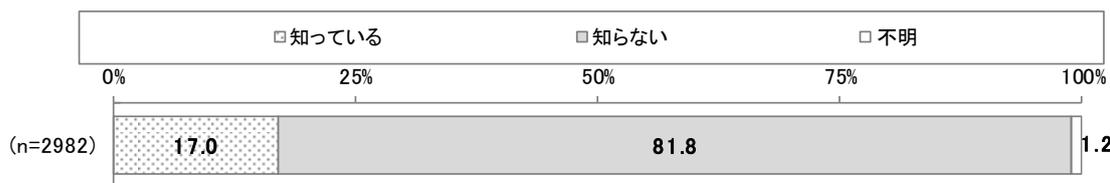
問17 災害時、あなたがケガをしてしまった場合、どのような行動をとりますか。(〇は1つ)



(2) のぼり旗を掲出することの認知

- のぼり旗を掲出することを「知らなかった」の割合は81.8%で、「知っている」の割合は17.0%である。

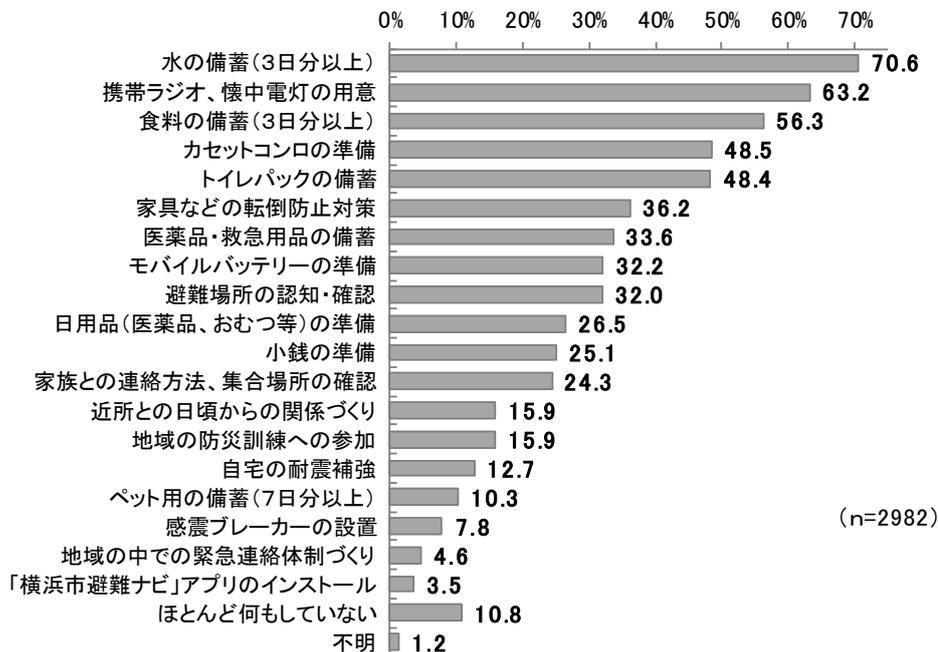
問18 災害時でも、診療を継続している医療機関をひと目で判別するため、診療所や薬局にイエローフラッグ(のぼり旗)が掲出されることを知っていますか。(〇は1つ)



(3) 災害に対する備え

- 「水の備蓄(3日分以上)」(70.6%)が最も多く、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」(63.2%)、「食料の備蓄」(56.3%)が続く。
- 「ほとんど何もしていない」(10.8%)はおよそ1割の回答である。

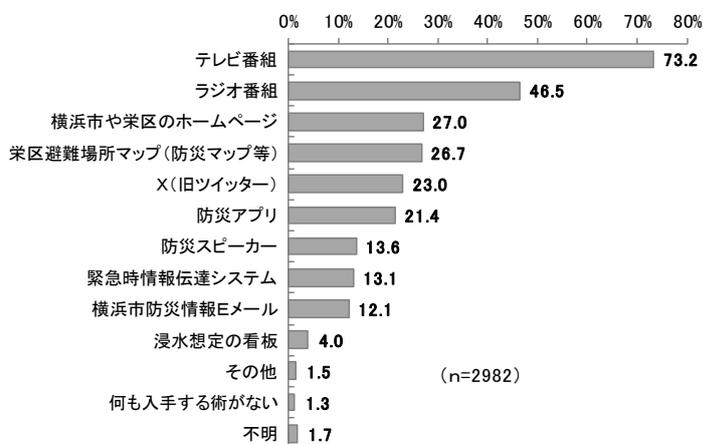
問19 あなたは、地震による被害を最小限に抑えるための取組として何を備えていますか。(〇はいくつでも)



(4) 災害時の避難情報の入手手段

- 「テレビ番組」(73.2%)が最も多く、続く「ラジオ番組」(46.5%)を大きく引き離している。次いで「横浜市や栄区のホームページ」(27.0%)、「栄区避難場所マップ(防災マップ等)」(26.7%)が続く。

問20 災害時に活用する防災情報をどのような手段で入手しますか。(○はいくつでも)

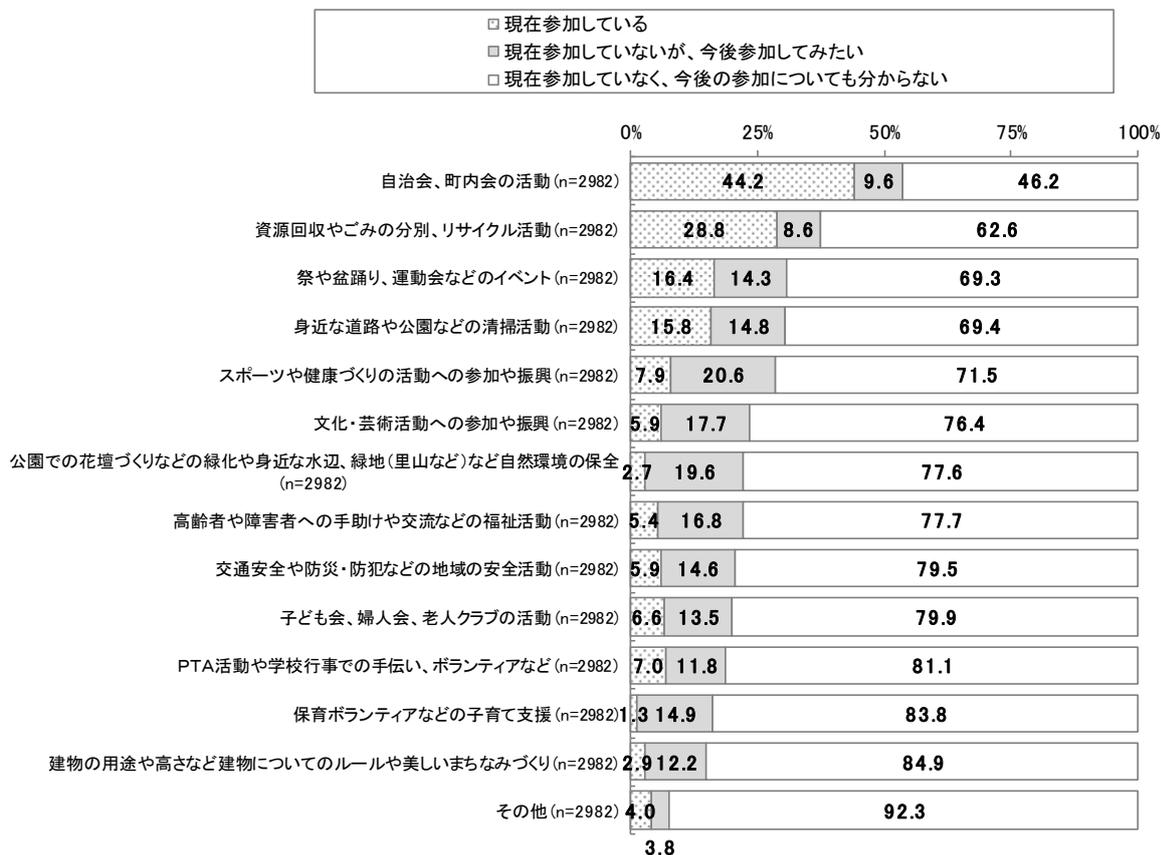


8. 地域とのつながりについて

(1) 地域活動への参加と参加意向

- 「現在参加している」割合が最も多いのは、「自治会、町内会の活動」(44.2%)で、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(28.8%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(16.4%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(15.8%)が続く。
- 「現在参加していないが、今後参加してみたい」割合が最も多いのは、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」(20.6%)で、「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)など自然環境の保全」(19.6%)、「文化・芸術活動への参加や振興」(17.7%)が上位に挙げられている。

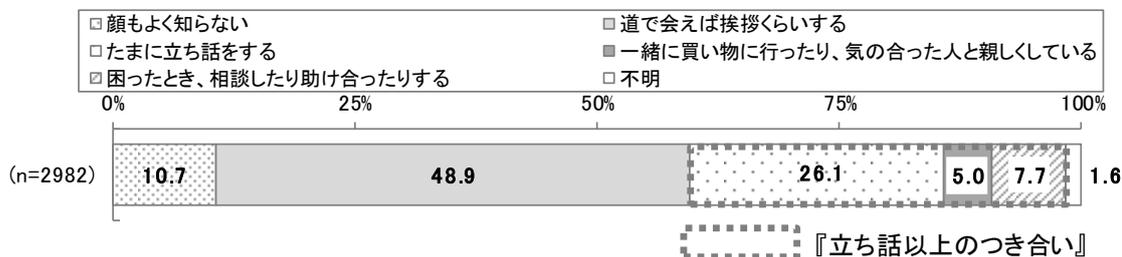
問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。(○は1~14の各項目ごとに1つまで)



(2) 隣近所とのつき合い方

- 「道で会えば挨拶くらいする」は48.9%、「たまに立ち話をする」は26.1%である。『立ち話以上のつき合い』（「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計）は38.8%である。

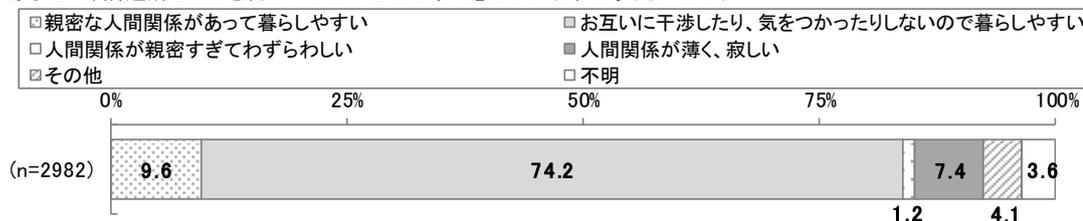
問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



(3) 隣近所のつき合いについて感じる事

- 「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」と感じている割合が74.2%で最も高い。「親密な人間関係があって暮らしやすい」は9.6%である。「人間関係が薄く、寂しい」と感じている人は7.4%となっている。

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)

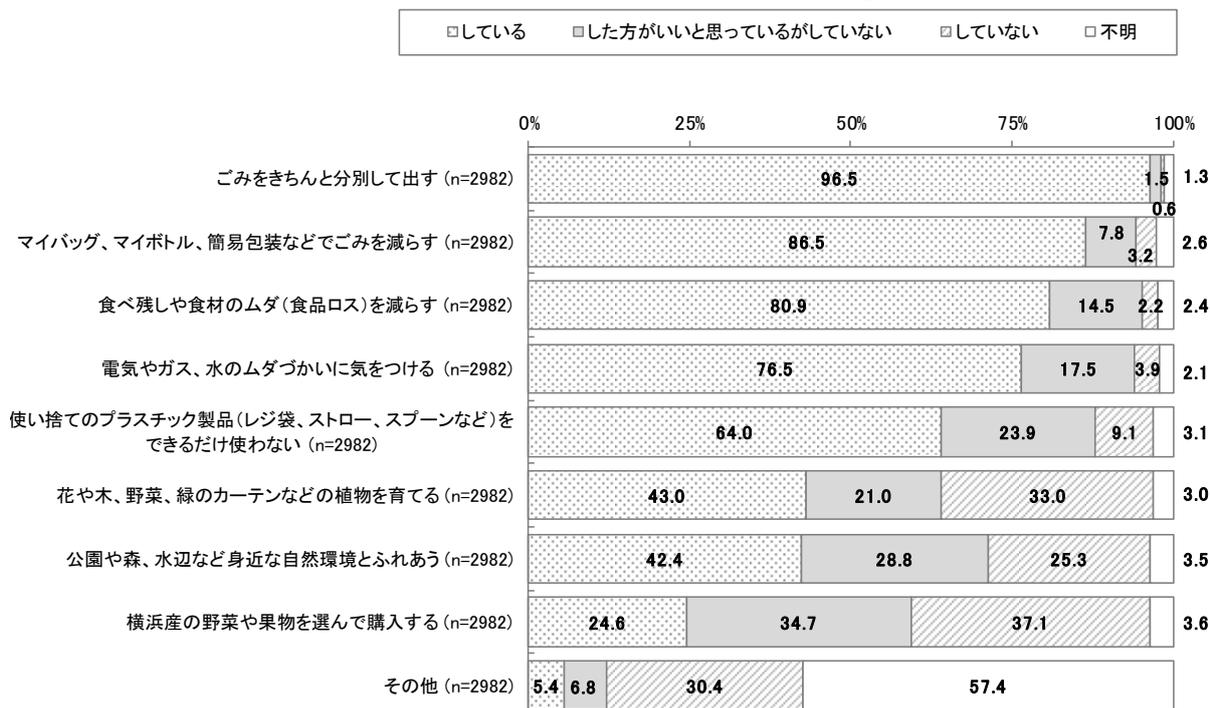


9. 環境行動について

(1) 環境行動の実践

- 「している」の割合は、「ごみをきちんと分別して出す」(96.5%)が最も多く、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」(86.5%)、「食べ残しや食材のムダ(食品ロス)を減らす」(80.9%)、「電気やガス、水のムダづかいに気をつける」(76.5%)の順に続く。

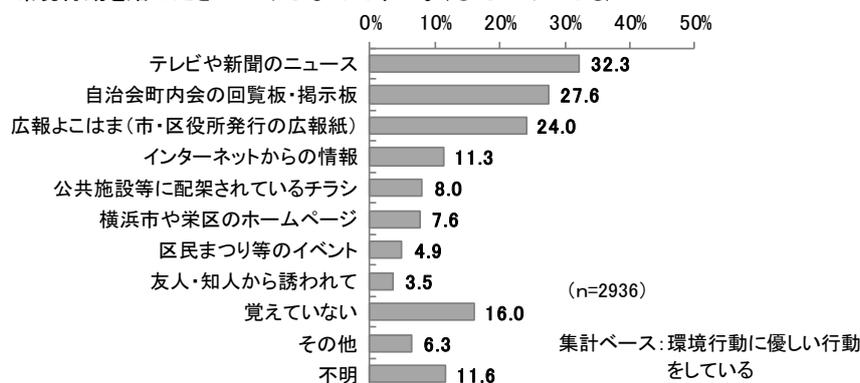
問24 あなたは普段、次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。



(2) 環境行動を始めたきっかけ

- 「テレビや新聞のニュース」(32.3%)が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(27.6%)、「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」(24.0%)の順に続く。

問24-1 その環境行動を始めたきっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

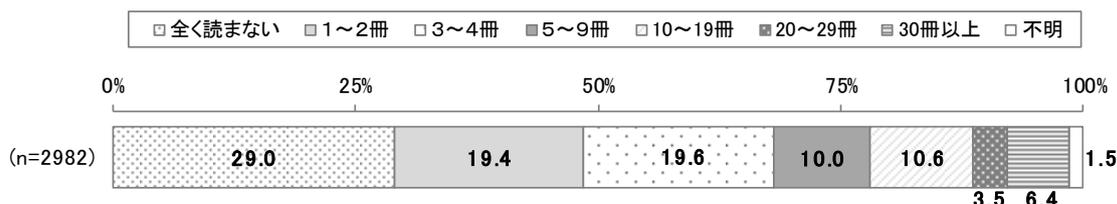


10. 読書について

(1) 1年間に読む本

- 「全く読まない」(29.0%)が最も多く、「3~4冊」(19.6%)、「1~2冊」(19.4%)が続く。

問25 過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く



11. 広報について

(1) 栄区の情報を得る媒体

- 「広報よこはま」(67.1%)が最も多く、続く「自治会町内会の回覧板・掲示板」(53.5%)の2つの媒体が5割を超えている。「タウン紙(新聞折り込み)」(30.0%)、「栄区のウェブサイト(ホームページ)」(21.3%)が続いている。

問26 あなたは普段、栄区の情報を入手するとき、どのようなものを利用していますか。

(〇はいくつでも)

